

「子ども」が「子ども」で いられる町(里庄)に!!



令和3年に文部科学省と厚生労働省が発表した「ヤングケアラーの実態に関する調査結果」によれば、中学2年生の約17人に1人がヤングケアラーでした。(調査に参加した中学校の46.6%、全日制高校の49.8%にヤングケアラーがいると回答)

「ヤングケアラー」とは、本来大人が担うとされているような家事や家族の世話などを日常的に行っている子どものことです。こ

うした子どもたちの中には、責任や負担の重さにより、学業や友人関係等に影響が出てしまうことがあります。



☆ 「ヤングケアラー」増加の要因は!?

親の離婚やそれに伴う就労時間の増加、家族が病気になったり、障がいをもったりすること等でケアニーズが増加することが要因の一つと考えられます。このような状況になると最悪、働きに出る親に代わって子どもが家族をケアする中心になってしまいます。こうした子どもたちの中には、自分のやりたいことを我慢する、将来の夢をあきらめざるをえない場合があります。

一人で頑張っている君。
家族を支えている
ヤングケアラーは、
かっこいい。



でも、
一人で頑張らないで、
誰かを頼ったっていい。

「ヤングケアラー」は、家庭内のことで表に現れにくい、子どもたちからSOSを発することは非常に少ないと言われています。「ヤングケアラー」の支援においては、「ヤングケアラーであることを発見する」とともに「子どもの状況や意向に応じた支援に結び付けていく」ことが大切です。そのためには、学校や福祉・医療サービス、行政機関等と地域の大人の人々の連携・協力が不可欠です。地域の力で、子どもたちの未来を応援しましょう。

ご相談は、次の連絡先へ!

児童相談所 相談専用ダイヤル
0120-189-783

文科省SOSダイヤル
里庄町健康福祉課

0120-0-78310
0865-64-7211